

日刊 磐城時報

編集者 田中弘成
印刷所 磐城印刷局
発行所 磐城印刷局
社址 磐城石城町十四番地
電話 一四四
代金 一月三圓 三月八圓 半年一五圓 一年二八圓
廣告料 一行一圓 一月一圓 三月三圓 半年五圓 一年八圓
印刷部 印刷部
電話 一四四
代金 一月三圓 三月八圓 半年一五圓 一年二八圓
廣告料 一行一圓 一月一圓 三月三圓 半年五圓 一年八圓

松ヶ岡公園上空で 松崎君低空飛行

臨時列車も仕立てる 平町の迎客準備

松ヶ岡ならびに新川端の櫻花の氣は花見からとばかり今年の花時を待つて平町では今年花時は平町に稀有の賑はひを呈するものと豫想されてゐる。

平署管内 消防幹部會

平署管内消防幹部會は四月八日午前十時から平署警署會議室に於て開催する。

平商願書 明日締切

平商業學校入學願書は明日二十四日迄締切であるが、二十三日までの受付は定員百十名に對しては百七十六名である。

匡救事業として 改修せる、小川江

總工費十萬三千三百圓

石城郡小川江筋農業水利改良事業は八、九兩年度匡救事業として工費十萬三千三百圓を以て行はれる事になつたが、同工事の内容は次の如くである。

石城郡小川、平窪、神谷、大浦、草野、大野、四倉の一町六ヶ村に亘つて灌漑水路を改修するもので、工事は水道補

石城地方の 酒醸造高

石城郡における醸造業者の新酒仕込は大体本月一杯を以て完了その醸造高は昨年の一萬四五千石と略同様で始めの豫想よりは約二割方増した。これは不況のため減損続きで何れも縮減主義を取つて来たが最近經濟界にインフレーションが起つて酒が現れなくなり困つてゐる地方の酒が殆ど残りなしとなつた。品揃のため急に各醸造業者が模倣をなし増産したもので

あるが、その原料購入期が丁度あの米價高騰の頂上で八圓八九十銭から九圓四五十銭で昨年の原料米購入値段と比較すれば一石當り何れも五圓から七圓の高値を買つた譯で勢ひ酒價も値上げせねばならぬこととなり一石につき五圓からの値上を断行したが、地方醸造界は大正七八年頃の好景氣當時六七十軒を數へた醸造業者が三萬石前後の醸造高が不況に禍され逐年倒産休業するもの續出し現在では僅にその醸造高も醸造業者も約半數となり何處まで落ちて行くか底止するところを知らぬ程慘憺な醸造業界に始めて更生の光をがさしかつて来た譯で各醸造業者は赤字を何んどかして消さねばならぬと良酒の醸造に懸命な努力をしてゐる。

優良青年訓練生 平町は志賀榮一君

石城郡内各小學校では明二十四日一齊に卒業式を舉行するが、當日各町村青年訓練所に於ては式場に於て優良生に對し石城教育會から賞状を添え賞品を贈る筈である。受賞者の如し。

赤井池田忠男、泉志賀阿喜良上遠野小澤恵一、江名丹野行雄、澤渡大平満、神谷箱崎久義、豊間鈴木隆雄、入遠野折笠幸一、四倉山崎歳一郎、平窪和正男、赤井第一鈴木甚一、田人小鍛治寅雄、高久岡井直義、平町志賀榮一、渡邊山田千十郎、下三坂内藤源太郎、中三坂秋山架繁吉、夏井矢吹正二、大浦若松好之助、錦川尻義雄、好間木田吉平、好間工

小名濱港浚渫作業 二十五日で竣工

小名濱町の匡救土木事業であつた小名濱港内浚渫作業は昨年十月一月着手し明二十五日を以て竣工した。浚渫の結果三米となり、小名濱港の水深平均三米となる。浚渫は五十噸内外の船しか入港出来な

平警察署に 自動車常設 五千圓で購入を決定

平警察署では事故に備へるため往年二臺のサイドカー付オートバイを常設したが、これのみでは不便を來す事が多いので自動車を買入れたいと計畫をたて奔走中車を常設する計畫をたて奔走中城、古河並に小田吉治氏經營の各炭礦で購入費の七割を寄附する事に大體決定したので五千圓内外の三十三型自動車を買入れ購入する事になった。右寄附金の不足分は町内有志の寄附を仰ぐ由である。

鎌田衛生區長 平町

鎌田町衛生區長は高田清一郎氏死亡したので鹿島要助氏任命された。

平小學校で 種痘線上げ

平町小學校では毎年児童に四月定期種痘を行つてゐるが、本年は寒氣が激しかったため折葉多くなり、草丈共に例年の發育より劣り早くも種痘を豫想されて執行する事になった。

夏井助役再選

村助役渡邊泰衛氏は任期満了の處二十三日村會で再選重任した。

震災義捐金

平町で募集中の三陸地方震災義捐金は二十日の締切までに總額八百七十八圓七十銭に達せし餘額不足してゐるので未提出區長に對し二十二日迄急取まとめ方の通

減収を豫想される 石城地方の麥作況

神谷村農事試験分場では二十一日春分當日麥作況を調査發表したが、昨秋播種以來雨量少なく土壤乾燥勝ちで冬に入つてからは寒氣が激しかったため折葉多くなり、草丈共に例年の發育より劣り早くも減収を豫想されて執行する事になった。

小名濱漁業 石城郡小

名濱漁業界は昨年十二月以來鰯の大漁つぎに恵まれ漁業者も加工業も製肥業も轉手古舞する程の多忙を極め全く不景氣知らずの活況を呈してゐるが、一、二の二ヶ月間の鰯漁獲高は數量が十五萬四千七百六十六箱(一箱十一貫匁)價額は平均五十錢で八萬五千四百七圓に上つてゐる。尚昨今の同魚市場における水揚げ相場は次の如し。

一箱三十七錢から三十一錢、平目二十五錢、エビ二十錢、大松皮三五錢、小松皮六五錢、タコ一樽二圓五十錢、金頭十五掛、アラ十七掛、メサガ十五掛、オサガ七五、むし平目十五掛、ヤナギ十三掛、アンコウ五掛、石モチ五掛。

平驛で 狂女歌

寒いも暑いも彼岸までの諺通り一日増しに暖氣は加はり櫻の蕾も大きくなるのが目に見える。氣の早い人達はビクニツクの話を持出す程の春氣分が磐城平地方にも訪れ行人の服装までもちらほら春着に替はれ運ぶスカッブもいと軽く春は街頭からの氣分を放つてゐるが、廿二日午前十時四十分平驛待合所に年齢三十七八小綺麗な婦人が現れ盛んに朗かな小唄を唄ひ續け發車時刻を待つ旅客達の無聊を慰めてゐたのもなんとなく春氣分ではある。さて春の天使として平驛に出現した婦人は誰か。人々の噂の種となつてゐる中年女の失戀者、精神病者、色狂狂等々

藤田女學校生徒募集

一、本科 (二ヶ年卒業) 五十名
 二、裁縫専修科 (二ヶ年卒業) 百名
 三、師範科 (二ヶ年卒業) 三十名
 四、専攻科 (二ヶ年卒業) 二十名
 五、本科専修科 (二年缺補編入) 若干名
 六、選科 若干名

右希望者ハ三月卅日迄願書提出ノコト
 詳細ハ本校宛學則請求セラルヘシ
 昭和八年三月
 福島縣平町田町
 文部大臣 藤田女學校
 認可 電話三二八番

磐城名物...糯米製

北海屋のもちぢ餅

進物用 全ポール函入(小函)二十錢 罐入五十錢
 (大函)三十錢 全壹圓
 本品ハ消化吸収順ルヨク病人、産婦、老人、幼兒ニ
 好適ナル食物タルハ勿論ビクニツク、運動、旅行等
 ニテ疲勞ノ際之ヲ食スレバ勿チニ元氣回復スル事妙
 ナリ。

平町字二丁目
 北海屋製菓部
 電話三八八番

兒園募集

一、募集兒 六拾名
 二、規則書 希望者は當園に申入れたし
 入園期 四月五日
 平町材木町
 平信榮幼稚園

家傳秘法腫物湯

のんで効く
 はれ物の妙藥
 主一、面癩、よう乳の腫れ、指のはれ、林巴腺の腫れ
 ●耳鼻のおでき、骨膜炎、筋炎、はれ物手術の前後
 効一等よし
 ◎特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り醜き
 痕を殘さず美容上最適の治療劑なり
 定價 五十錢 七十錢 一圓十錢 一圓五十錢
 特約店 平町四丁目 小野藥店 四ツ倉町 荒川藥店
 植田町 松本藥店 富岡町 莊野藥店
 湯本町 岩瀬屋藥店
 腫物湯 製劑所 茨城縣下孫 磯野健生堂
 肋膜湯

耳鼻喉科専門

平町田町七十番地
 山内醫院
 醫學士 山内亨 吉
 入院隨意
 病室完備
 電話六九一

油と味の合

明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

山崎合會社

福島縣平町
 電話(營業部専用)一〇番
 (一般用)二七番
 振替東京一九七五五番

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番

胃腸科 専門
 腸十二指腸 胃性病
 淋病 婦人病
 皮膚病 専門
 院醫科 腸胃病 胃性病 村松
 【番七〇一話電】町南町平

藤沼醫院
 電話五〇七番

木村病院
 電話一六四番

上田外科醫院
 電話一二九番

大藏省允許
 無盡
 助金
 助金
 助金

良品廉賣に勝る
 商略なし
 磐城セメント特約代理店
 釜屋商店
 金物問屋 和洋銅鐵
 磐城國平町五丁目
 電話九番 九九番
 振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は 〆の生命なり

X光線科
 上田外科醫院
 電話一二九番

豫告中の發賣品は
 満海
 でした。御一人前...十五錢で満腹

魚沼會堂
 電話六三三番

難波醫院
 醫學博士 難波 睦
 平町大町新川端
 電話(五〇二番)